

## 女性が活躍できる環境整備

うえまつ

植松 ひろこ

民主党・市民連合



**問**札幌市まちづくり戦略ビジョンの戦略編では、特に力を入れる項目の一つとして、女性が活躍できる環境整備を掲げています。男女共同参画センターでは今後、就労・起業する女性の裾野を広げる支援をどのように行っていくのですか。

**答**これまでも、子育て中の方や、子育てが終わった方などが、その生活環境の段階に応じて多様な働き方ができるよう、女性の就労・起業支援を実施してきました。今後も引き続き、起業講座やキャリア支援講座のほか、起業を実現するためのチャレンジ相談などを行います。また、仕事を共有し、積極的な交流を図る、女性向けの新しい働き方を提供する場を男女共同参画センター内に新たに設置する予定です。

**問**本年10月に開催される日本女性会議2014札幌における、男女共同参画活動団体やボランティアのかかわり方について伺います。

**答**現在、開催に向けて男女共同参画センターで活躍している団体などの方々に、会議のプログラム内容の検討など、企画段階からご協力をいただいています。また、開催当日は、講師や運営など、会議を支えるスタッフとしても参画していただく予定であり、この経験が今後の男女共同参画の推進に生かされるものと、期待しています。

## 新さっぽろ周辺地区ともみじ台地域におけるまちづくり

まるやま

丸山 秀樹

公明党



**問**市営住宅余剰地の活用をきっかけとして、新さっぽろ周辺地区の魅力向上に向けて、どのようにまちづくりを進めていきますか。

**答**空中歩廊や地下接続により主要施設を結ぶなど、歩行者ネットワークの充実を図り、一体的なまちづくりを進めます。また、市営住宅余剰地については、現状の道路配置の見直しによる街区の大型化なども視野に入れ、民間活力を最大限に生かすよう検討します。

**問**高齢化の著しいもみじ台地域における将来のまちづくりについて、どのように行っていくのですか。

**答**当地域では、閉校となった小学校などを活用した地域交流の取り組みが浸透し、地域活性化の取り組みがさらに広がることを期待します。一方、少子高齢化に伴う課題があり、住民や事業者との意見交換や庁内連携を図り、課題解決に向けた検討を進めていきます。

# 市議会の動き

5月16日に招集された第2回定例会の中から、5月21日、22日の代表質問の主な内容についてお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

## まちづくりの考え方

こじま ゆみ

自民党・市民会議



**問**用途地域や地区計画による建築物の立地規制について、地域の実情に応じ、どう見直しに取り組んできましたか。また、土地利用計画制度の運用について今後どのように考えますか。

**答**郊外住宅地においては、歩いて暮らせる範囲に生活利便施設が立地できるよう主要な生活道路の沿道を中心に見直しを行い、また、都市計画提案制度により医療施設や福祉施設の立地が進められています。今後は地域課題の解決に向けて現状の規制が支障となっている場合は、それを緩和するなど、きめ細かく運用し、また、少子高齢化の進行などの課題を踏まえた土地利用計画制度の運用の考え方についても、検討していきます。

**問**高齢化の進んだ市営住宅の課題について、どう認識していますか。また、入居者の世代構成バランスやコミュニティ維持のための政策的誘導が必要ですが、どう対策していくのですか。

**答**団地によっては、高齢化による世代構成の偏りに伴いコミュニティ維持が難しく、自治会活動も停滞しつつあると認識しています。今後は、子育て世帯の誘導を図れるよう、既存団地を子育て支援住宅と指定することも含め世代構成バランスに配慮した入居者募集の方法について、検討を進めます。